

○水生生物モニタリング調査結果一覧（太田川F）

＜太田川F 水質底質採取項目＞

項目	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
F-1	○	○	○	○	○	○

＜太田川F 現場測定項目＞

項目	調査緯度・経度		調査日時			水質					底質		その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (℃)	泥温 (℃)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透視度 (cm)		
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.12.6	11:16	11:32	8.6	8.6	砂	2.5Y4/4	なし	0.47	>50		

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.12.6	11:16	7.4	<0.5	2.1	12.6	4.9	0.03	0.9	<1	0.7	0.022	0.17	0.0034

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜太田川F 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E _{N.H.E} (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm ³)	粒度組成							Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)	
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)				最大粒径 (mm)
F-1	37.5975°	140.9252°	H29.12.6	11:32	7.4	369	19.8	1.0	1.3	2.619	12.1	32.2	47.8	5.8	1.3	0.8	0.75	19	180	1500	0.63

注) N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

＜太田川F 分析項目 水生生物＞

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	学名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			放射性セシウム(Bq/kg-wet)			Sr-90 (Bq/kg-wet)
		緯度	経度										成長段階	消化管内容物	測定部位	計	Cs-134	Cs-137	
F-1	太田川本流	37.5975°	140.9252°	H29.12.6	藻類・植物	—	—	—	—	河床付着物 (藻類を含む)	—	0.026	—	—	—	1220	120	1100	—
					藻類・植物	単子葉植物	株	株	<i>Phragmites australis</i>	ヨシ	—	0.16	—	—	—	76.6	9.6	67	—
					節足動物	昆虫	チラカゲロウ	チラカゲロウ	<i>Isonymchia japonica</i>	チラカゲロウ	366	0.016	幼虫	—	—	283	33	250	—
					節足動物	昆虫	モンカゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	149	0.0042	幼虫	—	—	611	61	550	—
					節足動物	昆虫	ヒゲナガカワトビケラ	ヒゲナガカワトビケラ	<i>Stenopsyche marmorata</i>	ヒゲナガカワトビケラ	50	0.0045	幼虫	—	—	722	82	640	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Protohermes grandis</i>	ヘビトンボ	8	0.0036	幼虫	—	—	148	18	130	—
					節足動物	昆虫	ヘビトンボ	ヘビトンボ	<i>Parachauliodes japonicus</i>	ヤマトクロスジヘビトンボ									
					節足動物	軟甲	エビ	テナガエビ	<i>Palaemon paucidens</i>	スジエビ	16	0.025	成体	—	—	368	48	320	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	11	0.035	未成魚	—	—	368	38	330	—
					脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Cyprinus carpio</i>	コイ	1	4.8	成魚	不明消化物	内臓除去	471	51	420	4.2
					脊椎動物	硬骨魚	スズキ	ハセ	<i>Rhinogobius fluviatilis</i>	オオヨシノボリ	3	0.0074	成魚	—	—	314	34	280	—
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	ウシガエル	3	0.55	成体	—	—	103.6	8.6	95	—
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana ornativentris</i>	ヤマアマガエル									
F-5	太田川本流	37.6022°	140.9868°	H29.12.6	脊椎動物	硬骨魚	ウナギ	ウナギ	<i>Anguilla japonica</i>	ニホンウナギ	5	0.48	未成魚	カエビ、魚類、植物片	内臓除去	121	11	110	—
					脊椎動物	硬骨魚	サケ	サケ	<i>Oncorhynchus masou</i>	ヤマメ	1	0.052	未成魚	ユスリカ蛹	内臓除去	12.5	1.5	11	—
					脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana catesbeiana</i>	ウシガエル	1	0.062	成体	—	—	54.1	5.1	49	—

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※6：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をプラン等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※7：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※8：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。